



2022年2月18日

各 位

会社名 株式会社 S Y S ホールディングス
 代表者名 代表取締役 鈴木 裕 紀
 会長兼社長
 (コード番号: 3988 東証 J A S D A Q)
 問合せ先 取締役専務執行役員 後藤 大 祐
 管理本部長
 (TEL 052-937-0209)

2022年7月期 第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2021年9月13日に公表いたしました2022年7月期第2四半期累計の連結業績予想及び2022年7月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2022年7月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正
 (2021年8月1日~2022年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,432	百万円 204	百万円 204	百万円 131	円 銭 25.44
今回修正予想(B)	3,624	230	241	157	30.50
増減額(B-A)	191	25	37	26	
増減率(%)	5.6	12.7	18.1	20.0	
(ご参考)前期連結実績 (2021年7月期第2 四半期)	2,915	178	184	136	26.50

(注) 2022年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、「1株当たり四半期純利益」については当該株式分割後の発行済株式数により算定しております。

(2) 2022年7月期通期連結業績予想数値の修正
 (2021年8月1日~2022年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,000	百万円 420	百万円 422	百万円 271	円 銭 52.58
今回修正予想(B)	7,500	420	422	271	52.41
増減額(B-A)	500	—	—	—	
増減率(%)	7.1	—	—	—	
(ご参考)前期連結実績 (2021年7月期)	6,296	381	397	276	53.59

(注) 2022年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、「1株当たり当期純利益」については当該株式分割後の発行済株式数により算定しております。

(3) 修正の理由

当社グループでは、前回公表の業績見通しとの乖離が下記の理由により見込まれることになったため、2022年7月期第2四半期(累計)の連結業績予想及び2022年7月期通期の連結業績予想について修正を行います。

2022年7月期第2四半期累計の売上高は、社会情報インフラ関連顧客からの受注が増加したことや新規連結子会社の増加等により、売上高が前回予想を上回る見込みです。

利益面では、インドネシアのロックダウンに伴う、技術者の就業場所確保のためのホテル賃借料等の対応関連費用の計上等により利益を落としたものの、売上高の増加や、収益率の向上等により利益が増加したこと等から営業利益が前回予想を上回る見込みです。また、営業外収益として、助成金収入を計上したこと等により経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回予想を上回る見込みです。

2022年7月期の通期の売上高は、2022年7月期第2四半期（累計）の業績予想の修正による売上高の増加を反映したことに加え、引き続き社会情報インフラ関連顧客からの受注が好調であることや、2022年7月期第4四半期の新規連結子会社の増加を見込みに反映したことにより、前回予想を上回る見込みです。

利益面では、売上高増加による利益増加が見込まれるものの、2022年4月以降の景況が不透明であることから、新規採用の増加による技術者の待機工数の増加に伴う利益減少を見込んだことにより2022年7月期（通期）の利益予想を据え置いております。

また、一株当たり当期純利益の予想については、2021年12月20日付の譲渡制限付株式報酬としての新株式発行に伴う株式数の増加を反映し、修正しております。

今後、利益を含む業績の見通しが明らかになり、業績予想の修正の必要があると判断した場合は、速やかに開示いたします。

（注）業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上